

T-CAT DUY実証実験報告書

カスタマイズ型販売の検討

2019年11月1日 文責：石井桃香

1. 実験概要

実施日時：2019年11月16日(土)・17日(日) 13:00~16:00

実施場所：T-CAT 2階観光イベントスペース

実施目的：イベント開催期間中に、梅五輪プロジェクト内で鯖江市と開発中のお土産品の実証実験を実施し、2020年の東京オリンピックパラリンピック時の販売を目指して試作品の改善を行うことを目的とする。

実施したヒアリング結果を元に、試作品案の検討と評価実験の流れを説明していく。

2. RENEW2019ヒアリング結果について

2019年10月11日から13日に鯖江市に訪問し、RENEW2019での出店者の方々にお土産品に関するヒアリングを実施した。ヒアリング結果の中でDUYに関する回答は以下の通りである。

【PR方法】

全体として、自分たちの伝えたいストーリーをいかに伝えられるかが大事であるという意見が多かった。

【内容】

- ・テンプレートについては、男性やアート系の方にはシンプルなもの、女性には花柄のテンプレートが好まれるのではないかと意見があった。
- ・金粉は1、2色でいいのではないかと金粉の種類を少なくするべきだという意見もあった。
- ・木箱のパッケージについては、この重さとサイズでは訪日外国人にとって持ち帰るのでは難しい。
- ・高級感のある名刺ケースが道具と一緒に入れてしまうと、重厚感が薄くなるため差別化を行うべきだ。

【価格】

・コストカットを行い安価にすべきであるという意見がある一方で、学生たちが8000円に見合うストーリーを提供できるのであれば下げる必要はないという意見もあった。

【ターゲット】

- ・工芸をやりたいと思う若者は少ないのではないかと。

・父の日や敬老の日など誰かにプレゼントを渡すときに期間限定で販売してみても良いのではないか。

3. チュラロンコン大学ヒアリング結果について

10月27日(日) タイ国チュラロンコン大学の学生6名教員2名にDUY体験とヒアリングを実施した。以下に、注目すべき点をまとめる。

【最も楽しかった作業】

- ・ 8人中8人 金粉をつける作業が最も楽しかったと回答

【名刺ケースへの満足度】

- ・ 8人中7人 作成した名刺ケースを日常的に使用すると回答

【その他・気づき】

- ・ 複数の色を使用し、鮮やかなデザインを好んでいる人が多く見受けられた。
- ・ また、テンプレートを使用せず、自分の好きなキャラクターや自分の名前を漢字に変換して蒔絵にしている方もいた。
- ・ 名刺ケース作成後、自分のスマートフォンケースに蒔絵をする方が何名かいた。

4. キット試作品案の再検討及びDUY実証実験の流れ

RENEW2019でのヒアリング結果より、パッケージとキットの内容を以下の通りに変更する。図4-1は今回の実験概要を表しており、3つのパターンに分けて実験を行う。3種類のキットの販売結果を比較し、DUYの需要有無について調査を行う。

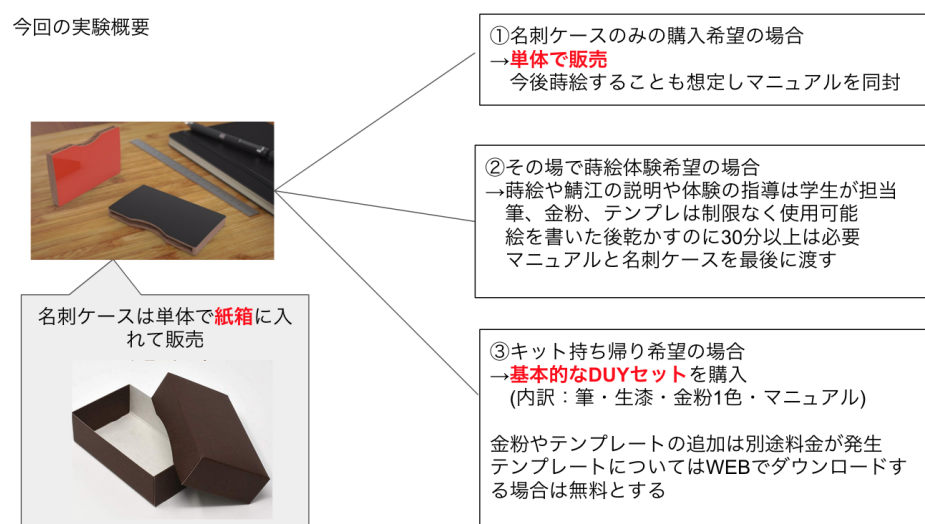


図4-1 今回の実験概要

●訪日外国人向けの調査について

チュラロンコン大学の方へのヒアリング実施時は、花や鳥などのテンプレートを
使用したが、シンプルなテンプレートを好む場合もあるか調査すべきである。

●価格について

また、図4-2はパターン別の費用を表している。図4-2より、今回は、名刺ケース価格を2300円、蒔絵工房体験価格を3600円、DUY価格を3600円と設定し、その場で体験を行うのか、それとも持ち帰るのか調査する。

	①	②	③
名刺代	○	○	○
体験代	×	○	×
キット代	×	×	○
原価(円)	1728	2738	2690
定価(利益率30%)	2246.4	3559.4	3497

図4-2 今回の実験費用まとめ

【費用詳細】

名刺代→名刺ケース(1500円) 包装ボックス(98円) マニュアル(130円)

体験代→金粉5色(990円) 持ち帰り用紙袋(20円)

キット代→筆(132円) 生漆(580円) 金粉(198円) 金粉容器(32円)

持ち帰り用紙袋(20円)

●パッケージについて

ヒアリング結果を元に検討した結果、父の日や敬老の日など誰かに感謝を伝えたいときに贈り物としてDUYを作成してもらうことを目的とした。そこで、水引を使用し、お祝いのギフトとして名刺ケースのボックスをそのまま活用できるようにパッケージを変更することも検討中である。

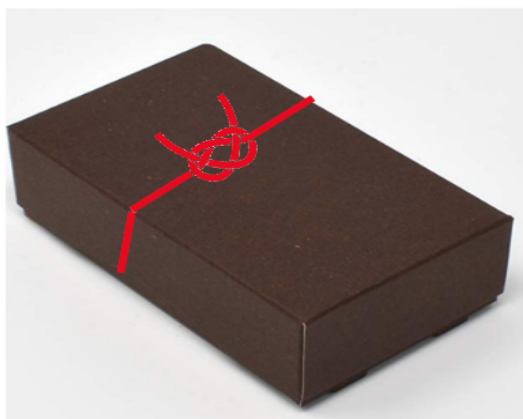


図4-3 名刺ケースの包装ボックスのイメージ図

5. 実際のブースの様子

